

元気に育て!名寄のひまわり!

保育園の園児が元気にひまわりの種まき!

本日30日(金) 区立井草森公園(井草4-12-1)内にある約200㎡の花壇に、近所の保育園に通う園児ら約350人が訪れ、元気にひまわりの種まきをしました。この催しは、杉並区の交流自治体である北海道名寄市の美しいひまわりを杉並区民に広く知ってもらおうと昨年から始まりました。本日まいた種は、7月下旬に見頃を迎え、夏の風物詩として多くの区民を楽しませます。

杉並区の北西にある井草森公園は、「花の名所」として区民から親しまれています。 公園には、春の「菜の花」や秋の「キバナコスモス」など、四季を通じてさまざまな 花を楽しむことができます。

そんな井草森公園で、杉並区の交流自治体である北海道名寄市に美しく咲くひまわりを多くの区民に知ってもらおうと、名寄市から届くひまわりの種まきが昨年に引き続き行われました。名寄市は、東京ドーム13個分以上の広大な農地におよそ500万本以上のひまわりが美しく



咲くことから、「ひまわりのまち」としても知られています。

10時ごろから事前に声をかけていた近所の保育園の園児が次々と公園に到着。園児たちは、職員からひまわりの種が5~10粒入った皿を渡されると、花壇の中に元気よく入っていきました。花壇の中で一列に整列すると、園児たちは、職員や保育園の先生から「同じところばかりじゃなく、いろんなところに植えるんですよ」などのサポートを受けながら、そっと土に種をまいていきました。種をまき終わった園児たちは「大きくなったら見に来たい」とひまわりの成長を楽しみにしていました。

本日まいたひまわりの品種は「ビッグスマイル」で、高さおよそ1mに満たないくらいの観賞がしやすい小さなひまわりに成長します。7月下旬になると見頃を迎え、約1,500本のひまわりが夏の風物詩として、多くの区民を楽しませます。